

ザンビアの保健報告

AMDA・支援者ら熱心に
新春の集い

国際医療救援団体「AMDA」グループのAMDA社会開発機構は、岡山市民会館（北区）の会議室で「新春の集い」を開いた。集いではアフリカ南部のザンビアの保健分野に関する報告などがあつた。会場には約50人が詰めかけ、支援者らが熱心に耳を傾けた。

集いでは、現地で働く職員のカエベタ亜矢さん(41)と大谷聡さん(37)が国際協力機構(JICA)から委託されている都市コミユニティ小児保健システム強化プロジェクト



保健分野について報告するカエベタさん
—北区で

などについて話した。小児科医のカエベタさんは栄養失調の子供の状況などを報告し、マラリアやエイズなどの流行や不衛生な生活環境の他に、貧困も子供の健康を阻害する要因となると報告した。

大谷さんは、貧困層が多く住む地域で活躍する医療分野の住民ボランティアについて説明した。「ボランティアは相互扶助の精神から取り組んでいるが、安定した収入が必要」と話し、クリーニングや製粉所などの収入を生み出す活動にも取り組んでいると紹介した。

【石井尚】